

はじめのいっぽ栽培研修

本研修では、リーフレタスを材料に、播種から収穫までの一連の作業を体験しながら、人工光型植物工場での植物生産に必要な基礎知識を学びます。人工光型植物工場を用いた植物生産に興味があるものの栽培は未経験の方、施設栽培では必須となる環境制御の基本的な考え方を学びたい方におすすめです。

開講日 2026年 1月 14日（水）

講師 江口 雅丈 大阪公立大学 特任助教

場所 大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス C20棟



日程 全7日（6週間）

	日	月	火	水	木	金	土
1月	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31
2月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21

*赤丸で囲まれた日が研修日

定員 8名

参加費 100,000円

お申込み



植物工場研究センターWebサイト

1月7日（水）〆切

日程	13:30 ~ 16:30	
	講義	実習
1日目 (1/14)	オリエンテーション、 植物工場の概要	播種
2日目 (1/16)	植物の栄養生理と養液栽培① (栄養吸収と必須栄養素)	発芽の確認、 培養液作成のための準備
3日目 (1/21)	植物の栄養生理と養液栽培② (養液栽培と培養液の管理)	培養液の作成 植物の観察
4日目 (1/28)	環境制御と植物の応答① (光・温度)	移植 植物の観察、環境計測
5日目 (2/4)	環境制御と植物の応答② (湿度・CO ₂ 濃度・気流)	定植 植物の観察、環境計測
6日目 (2/12)	植物の生産力とその評価方法	植物の観察、環境計測、 データの活用方法
7日目 (2/18)	研修のふりかえり	収穫 収穫物の評価

受講者からのコメント

- ・参加人数もちょうどよく、話が理解しやすい。
- ・アンケートや講義中など、質問できる機会がとて多く、非常に勉強になった。
- ・培養液の管理について重要な項目が分かった。植物工場管理にいかしていきたい。
- ・専門的すぎず、初歩的すぎない内容が網羅的に説明され、非常にわかりやすかったです。
- ・質問の回答も分かりやすく、実際植物工場を稼働する場合など実践に沿ったアドバイスもしていただきとても良かった。